

消防だより

令和4年(2022年)
8月末現在の出動件数

有田川町消防本部 ☎52・5950
 吉備金屋消防署 ☎52・5950
 清水消防署 ☎25・1243

火災 : 10件
 救急 : 925件
 救助 : 13件

令和4年度全国統一防火標語 「お出かけは マスク戸締り 火の用心」

住宅火災から命を守るために

令和3年(2021年)中に全国で発生した住宅火災は約1万件でした。住宅火災から命を守るためには、火災を発生させないことと初期段階で適切な行動をとることが大切です。

①火災を発生させない、燃え広がらせない

- ・寝たばこは絶対にしない。
 - ・ストーブの近くに燃えやすい物を置かない。
 - ・コンロを使うときは火のそばを離れない。
 - ・寝具、衣類およびカーテンなどは、燃えにくい「防炎品」を使用する。
- ### ②早く知る・気付く・通報する
- ・逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災警報器を設置し、定期的に作動確認を行う。
 - ・火災に気付いた時は、すぐに消防

署に通報する。

③早く消火する

・火災を小さいうちに消すために、「住宅用消火器」などを設置し、使い方を確認しておく。

④危ないと判断したらすぐに避難する

・「炎が天井に達した」、「初期消火に失敗した」などの場合はすぐに避難する。

高齢者の入浴事故に要注意

暑い夏も過ぎ、日ごとに過ごしやすくなってきました。これからの寒い時期に多くなってくるのが、高齢者の入浴中の事故です。入浴中の事故は、持病がない場合でも発生する恐れがあり、周りの方も協力して事故防止を行うことが大切です。入浴前には脱衣所や浴室内を温めておくとともに、湯温を41度以下に

設定し、湯に浸かる時間も10分以内を目安に、浴槽からは急に立ち上がらないように注意してください。

また、食後すぐの入浴やアルコールを摂取した状態での入浴は控えてください。家族などがいる方は、入浴前に一声かけるように心掛けましょう。

※浴槽でぐったりしている人を発見した場合は、入浴者を浴槽から出してください。もし、浴槽から出せない場合は、浴槽の栓を抜き、顔が湯に浸からないようにしてください。また、直ちに救急車を要請し必要であれば心肺蘇生を行ってください。



インフルエンザ、 新型コロナウイルス感染症予防

毎年、秋から冬にかけて全国的にインフルエンザが流行します。新型コロナウイルス感染症の感染予防と並行して、インフルエンザの感染予防が必要となります。

病院の案内

「救急車を利用するほどではないけど、受診できる病院がわからない」という方に、受診可能な医療機関を案内しています。

- 和歌山医療情報ネット
スマートフォンやパソコンなどで「わかやま医療情報ネット」と検索する。
- 救急医療情報センター ☎073-426-1199 (24時間対応)
- こども救急相談ダイヤル(平日19時~翌朝9時、土日祝9時~翌朝9時)
☎#8000(プッシュ回線・携帯電話) ☎073-431-8000(ダイヤル回線・IP電話)

- 感染しないための対策
- ・手洗い、うがいをする。
- ・咳エチケットを守る。
- ・人混みへの外出を控える。
- ・適度な湿度(50%~60%)を保つ。
- ・普段の健康管理に注意する。